

とちぎ高等教育推進まちづくり会議
令和元年度の取り組み状況等について

1 とかち高等教育推進まちづくり会議の会議開催経過等について

■ 会議開催

- ◇ 平成 31 年 4 月 19 日 ・ 第 1 回企画・事業部会開催
令和元年度総会議案等について ほか
- ◇ 令和元年 5 月 31 日 ・ とかち高等教育推進まちづくり会議総会開催
平成 30 年度事業報告・決算及び監査報告、令和元年度事業計画・予算（案）決定
役員の改選について ほか
- ◇ 令和元年 11 月 25 日 ・ 第 2 回企画・事業部会開催
食品安全管理のスペシャリスト養成について、若者の地元定着と地域課題解決の促進について ほか
- ◇ 令和元年 2 月 25 日 ・ 第 3 回企画・事業部会開催
食品安全管理のスペシャリスト養成について、若者の地元定着と地域課題解決の促進について ほか

■ 食品安全管理のスペシャリスト人材養成に関する意見交換会

部会における検討の基礎として、食品安全分野の人材育成の取り組みの方向等について、関係機関と協議を行った。

[メンバー] 帯広畜産大学、とかち財団、帯広市（政策室・工業労政課）

- ◇ 平成 31 年 4 月 12 日
- ◇ 令和元年 7 月 23 日
- ◇ 令和元年 8 月 2 日
- ◇ 令和元年 8 月 8 日
- ◇ 令和元年 9 月 3 日
- ◇ 令和元年 9 月 12 日
- ◇ 令和元年 12 月 20 日

■ 食品安全マネジメント教育機能の基盤強化に関する調査研究

食品安全マネジメントの人材育成や支援の継続的な実施に必要な人員体制など基盤強化を図るため、企業ニーズなどの基礎的な調査研究に取り組んだ。

◇ 調査研究項目

- | | |
|------------------|-----------------------|
| ① 食品安全関連法制の概要 | ⑤ 食品安全に関する職種及び資格 |
| ② 食品安全に関する国際的な動向 | ⑥ 学生の進学動向 |
| ③ 食品安全に関する取引慣行 | ⑦ 大学における教育・研究・社会貢献の状況 |
| ④ HACCP 認証制度の現状 | ⑧ 事業者等の現状と人材ニーズ |

◇ 食品安全に関する企業の現状と人材ニーズに関する調査委託（上記⑧）

[受注者] エム・アール・アイ リサーチアソシエイツ株式会社

[事業費] 1,400,000 円

[調査概要]

[アンケート調査] 道内・管内の HACCP 認証事業所等 200 件に送付。回答数 73 件・回収率 36.5%。

- ・認証取得の動機として、食品の安全性向上が最多だが、取引上、必要になってきている事情もうかがえる。
- ・食品安全に係る人材の確保策として、基礎知識を持つ人材の新卒採用よりも採用後の社内教育の意向が強い。
- ・育成に要する時間や指導人材の不足、現場の実情に即した研修内容や普及定着について課題がうかがえる。
- ・十勝地域での研修受講ニーズとして、危機管理研修が最多で、商品開発・設備保全がこれに次ぐ。
- ・札幌開催や、e ラーニングを望む意見も見られる。 など

[ヒアリング調査] 首都圏に所在する審査機関・監査会社等や、大規模の食品関連企業 18 社。

- ・一般衛生管理や HACCP、食品安全マネジメントシステムの知識、製造や品質管理の現場経験が必要とされている。
- ・新卒者には、HACCP の基礎的知識を求める意見が多いが、採用後は複数部門経験後、適正を見て配置されることが多い。
- ・大手製造業と異なり、小売業や卸売業、中小製造業では、リソース不足や専門外からの配属もあり、外部研修が比較的多い。
- ・審査員・監査員の高齢化、指導人材不足、自己研鑽や社内エキスパートへの依存等、人材不足を課題に挙げる企業は多い。 など

■ 要望活動・視察等

◇ 令和元年 7月

○ 文部科学省高等教育局 ほか

帯広畜産大学の整備拡充に向けた要望活動

[要望] 運営費交付金の確保・・・運営費交付金、第3期中期目標・中期計画の推進に向けた機能強化促進に係る経費 など
教育研究施設の整備・・・施設整備への支援措置

◇ 令和元年 6月

○ エム・アール・アイ リサーチアソシエイツ株式会社

食品安全教育に関する調査について

2 帯広畜産大学と帯広市による主な連携事業等について

(1) フードバレーとかち人材育成事業

■事業内容

- ◇ 「十勝アグリバイオ産業創出のための人材育成事業」（文部科学省補助事業、H19～23）で培ったノウハウを活かし、チャレンジ精神等を持って、企業経営、異業種参入、新事業化、地域の経済発展に寄与する「リーダーシップ」を発揮する人材を育成する。

■令和元年度カリキュラム

- ◇ ビジネスコース 受講者数 21 名
【ねらい】新事業へのチャレンジや企業活動の効率化、競争力向上に必要な基礎的・応用的知識の習得
【内容】地域産業活性化に向けた経営論・実習、企業戦略論・実習
- ◇ 食品安全管理コース 受講者数 6 名
【ねらい】食品衛生管理に関する知識及び実技の習得
【内容】食品有害微生物講習（初級）
- ◇ 農業生産者コース 受講者数 38 名
【ねらい】農業者、支援団体、農業関連企業のニーズに合わせて開講
【内容】GAP（農業生産の工程管理）に関するセミナー
- ◇ 特別講演・講習 受講者数 163 名
【ねらい】食・農畜産業に関する最新の話題や技術の紹介、本事業における取り組みや成果の周知
【内容】農業経営者向け経営戦略セミナー ほか

○ このほか、道内 3 大学（北見工大、東京農大、畜大）の連携による、合同特別セミナーを実施。

(2) 馬のいるまちづくり共同事業

■事業内容

- ◇ 帯広畜産大学の知見を活かしながら、馬を活用した様々な活動による教育・研究・社会貢献の充実などの地域貢献とともに、人材の育成に努め、ひいては馬の研究拠点として地域の発展につなげることを目指す取り組み
(平成26年度より実施。ただし、障害者乗馬は民間団体に委託しながら以前より実施していたもの。)

■令和元年度の主な事業

- ◇ 障害者乗馬：知的障害児を中心に、馬のふれあいや、乗馬教室を実施（参加人数 延39名）
- ◇ 適応指導教室の乗馬体験：不登校児らを対象とした教室のカリキュラム内で乗馬体験を実施（参加人数 延13名）
- ◇ その他、イベントの共催（ちくだい馬フォーラム2019）による市民への取り組み周知

(3) 若者が牽引するしごとづくり・まちづくりプラン推進事業

■事業内容

- ◇ 学生が主体となって地域のしごとづくり、まちづくりに貢献するための事業を帯広畜産大学と連携して推進し、地域産業の競争力強化、中心市街地活性化等の地域振興に資するとともに、学生の地域愛を醸成して大学卒業・大学院修了後も十勝・帯広の応援団として一層活躍できる地方創生循環モデルを構築するものである。（平成27年度より実施）

■令和元年度の主な事業

- ◇ 学生の地域理解の向上と自主性の獲得を目的とした学習環境の整備
 - とちか学～十勝のキーマンから学ぶ～（平成31年4月17日～令和元年7月31日 全15回）
 - 経営者と「ガチで」学ぶ交流会×勉強会（全2回 参加者16名）
 - 十勝旅（全2回 参加者60名）

- ◇ 十勝・帯広における学生生活動の展開による地域活性化支援
 - ちくだいらんぷプロジェクト（「BEEHAVE～ミツバチでまちも農業も活性化」などの学生企画事業 計 15 件）
 - 十勝シンギスカン会議 2019 開催（令和元年8月30日 約 800 名参加）
- ◇ 地元企業と学生との共同研究を通じた地域産業強化支援
 - （「地域産業振興に資する外国人労働力確保の条件に関する共同研究」などの共同研究 計 6 件）

（４）その他 帯広畜産大学の主な動き（平成 26 年度以降）

- ◆平成 26 年 11 月 12 日 米国ウィスコンシン州立大学マディソン校と学術交流協定を締結
- ◆平成 27 年 4 月 十勝カレッジ SILO(サイロ)開始
- ◆平成 27 年 4 月 グローバルアグロメディシン研究センター開設
- ◆平成 27 年 8 月 産業動物臨床施設竣工
- ◆平成 28 年 4 月 第3期中期目標・中期計画期間の開始
- ◆平成 28 年 8 月 10 日 十勝毎日新聞社と包括連携協定を締結
- ◆平成 28 年 10～12 月 道東・十勝・帯広国際協力拠点設立 20 周年記念事業への参画
- ◆平成 28 年 12 月 「パラグアイオフィス」設置
- ◆平成 28 年 12 月 畜産フィールド科学センターの搾乳施設及び屠畜・解体施設がISO22000:2005 の認証を取得
- ◆平成 29 年 1 月 帯広畜産大学公式ロゴマークの採用
- ◆平成 29 年 3 月 原虫病研究センターと動物・食品検査診断センターが試験所能力を国際的に証明するISO/IEC17025:2005 の認証を取得
- ◆平成 29 年 4 月 10 日 リベラルアーツ講演会開催
- ◆平成 29 年 9 月 ポーランドの国立研究所およびヴァルミアズブリー大学と学術交流協定を締結
- ◆平成 29 年 11 月 21 日 「食シンポジウム@畜大～十勝地域における帯広畜産大学の役割を考える～」開催
- ◆平成 29 年 12 月 5 日 日本ハム株式会社と包括連携協定を締結
- ◆平成 30 年 2 月 研究シーズ集を公開
- ◆平成 30 年 5 月 29 日 北海道内国立大学法人(小樽商科大学、帯広畜産大学、北見工業大学)の経営改革の推進に関する合意書を締結
- ◆平成 30 年 12 月 4 日 障がい者の生涯学習支援活動に係る文部科学大臣表彰を受賞
- ◆平成 31 年 2 月 7 日 タイ王国チュラロンコン大学と学術交流協定を締結
- ◆令和元年 7 月 29 日 上川大雪酒造株式会社・十勝緑丘株式会社との酒蔵誘致に係る記者発表
- ◆令和元年 12 月 13 日 帯広畜産大学・北海道大学の「共同獣医学課程」が欧州獣医学教育機関協会による認証取得
- ◆令和 2 年 3 月 4 日 「経営統合による新たな国立大学法人の経営方針等について(中間まとめ)」の公表